

- 問1 18世紀中頃には蒸気で走る自動車が発明されるなど、新たな動力を活用する試みが始まっていました。その後、ワットが蒸気機関を改良したことが社会に与えた影響について、その背景と経緯を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 蒸気機関は主に軍事目的に限定して利用されたため、一般市民が消費する綿織物などの生産には電力が普及するまで大きな変化はなかった。 | 2. 蒸気機関が普及したことで、ルネサンス以来の伝統的な職人による手作業が再評価され、工場制手工業が主流となった。 | 3. ワットによる蒸気機関の改良は、あくまで自動車などの輸送手段の発展に留まり、工業生産の仕組みそのものを変えるには至らなかった。 | 4. 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。 |
|--|---|---|---|
- 問2 18世紀後半、日本では松平定信による寛政の改革が行われていました。この時期とほぼ同時期に、イギリス本国の統治下にあった北アメリカ東部の植民地の人々が、自由と平等を求めて発表した宣言はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------|---------------------|-------------|
| 1. フランシスコ・ザビエルによるキリスト教伝来 | 2. 国際連盟の創設 | 3. バスコ・ダ・ガマのインド航路開拓 | 4. アメリカ独立宣言 |
|--------------------------|------------|---------------------|-------------|
- 問3 江戸時代は、それ以前の戦国時代などと比較して「大きな戦乱のない世」と評されます。約260年という長期間にわたって平和が保たれた背景として、幕府が行った統治の仕組みについて説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した | 2. 民衆が自ら政治を行う権利を全面的に認め、合議制による全国統治を展開した | 3. 実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮を認め、社会の活性化を図った | 4. 武力による領土拡大を奨励し、諸大名を競わせることで勢力の均衡を保った |
|---|--|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 葛飾北斎の代表作に、手前に大きく立ち上がる激しい波を描き、その波間に遠くの富士山を小さく配置した、非常にダイナミックな構図の作品があります。この作品を含む、富士山を主題とした一連の風景画シリーズについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 歌川広重が描いた、日本橋から京都までの宿場町を題材とした「東海道五十三次」である。 | 2. 葛飾北斎が描いた、当時の富士山信仰や旅行ブームを背景とする「富嶽三十六景」である。 | 3. 菱川師宣が確立した、女性の立ち姿を描く「見返り美人図」のシリーズである。 | 4. 狩野永徳が桃山時代の城郭を飾るために描いた、壮大な「唐獅子図屏風」である。 |
|--|--|---|--|
- 問5 江戸時代の幕府は、鎖国体制を築く一方で特定の藩などを通じて外国との交渉を継続していました。このうち、地理的に朝鮮半島に近い位置にあり、宗氏が藩主として朝鮮との外交や貿易の実務を担っていた藩はどこですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 土佐藩 | 2. 長州藩 | 3. 対馬藩 | 4. 薩摩藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 江戸時代に築かれた城下町の構造や役割について、当時の領主（大名）のねらいをふまえて説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 農村部から強制的に農民を移住させ、都市部での大規模な新田開発を直接管理すること。 | 2. 身分制度を廃止して自由な商取引を認め、外国からの文化や技術を積極的に取り入れること。 | 3. 街道を通るすべての旅人に宿泊を義務付け、通行税を徴収することで藩の財政を潤すこと。 | 4. 軍事的な防御力を高めるとともに、商工業者を集めて経済を活性化させ、領地支配を安定させること。 |
|---|---|--|---|
- 問7 江戸幕府による朝廷や公家への統制の仕組みについて説明した文として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 老中を京都に常駐させて天皇の政治参加を促し、幕府と朝廷による合議制を確立した。 | 2. 大阪城代を設置して西国大名との結びつきを断たせ、朝廷の裁判業務を代行させた。 | 3. 六波羅探題を設置して承久の乱の後の朝廷を厳しく管理し、公家の所領をすべて没収した。 | 4. 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。 |
|--|---|--|---|
- 問8 16世紀に日本へキリスト教が伝来した経緯と、その初期の動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 1. ルイス・フロイスが長崎に来日し、プロテスタントの教えを広めた。 | 2. フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。 | 3. マルティン・ルターが日本を訪れ、天皇にキリスト教の公認を求めた。 | 4. 徳川家康の招きにより、イタリアの宣教師がローマ教皇の親書を携えて来日した。 |
|------------------------------------|---|-------------------------------------|--|
- 問9 1600年にウィリアム・アダムスが日本に漂着し、のちに徳川家康の外交顧問となった時期から、江戸幕府は対外政策を徐々に強化しました。この過程で、長崎を直轄地として管理し、貿易の統制やキリスト教の布教防止、さらには日本人の海外への渡航禁止などを実施した幕府の役職を選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 江戸町奉行 | 2. 松前奉行 | 3. 京都所司代 | 4. 長崎奉行 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問10 17世紀から19世紀後半にかけての社会情勢を分析すると、抵抗運動の発生件数は18世紀後半や19世紀前半に急激に増加し、年間100件を超えることもありました。特に19世紀前半、天保の飢饉などによる生活の苦しさから、農民たちが領主に対して年貢の軽減や役人の不正正しを求めて集団で行動した出来事を何といいますか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|---------|------------|
| 1. 打ちこわし | 2. 土一揆 | 3. 百姓一揆 | 4. ええじゃないか |
|----------|--------|---------|------------|
- 問11 1600年代の出来事を整理した年表において、1635年の「日本人の海外渡航・帰国の禁止」や、1639年の「ポルトガル船の来航禁止」といった対外政策の強化を行い、鎖国体制を完成させたとされる人物は誰か。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 豊臣秀吉 | 3. 徳川慶喜 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 徳川吉宗による享保の改革期において、幕府の年貢収納高が右肩上がり増加している一方で、都市部での米価は大幅に下落する傾向にありました。このような状況が幕府や武士に与えた影響と、それに対してとられた政策の背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 定免法の導入により年貢収入が安定しなくなったため、幕府は米の代わりに商品作物の栽培を奨励して農民の収入を増やそうとした。 | 2. 米の供給過剰によって米価が下がること、米を売って生活費を得ていた武士が困窮したため、幕府は米価を上げる目的で市場の整備や調整を行った。 | 3. 貨幣の質を落としたことで物価全体が上昇したため、米の価値が相対的に低くなり、幕府は質の高い貨幣に戻すことで物価の安定を図った。 | 4. 米の不作によって価格が高騰し、都市部で打ちこわしが頻発したため、幕府は米の流通を制限して価格を無理やり引き下げようとした。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。	ワットによる蒸気機関の改良は、従来の自然の力（水力など）に頼っていた生産活動を劇的に変えました。動力源を工場内に設置できるようになったことで、川沿いなどの立地制約から解放され、都市部などでの効率的な工業生産が可能になりました。この技術革新は綿織物工業における爆発的な生産力の増大を招き、社会構造そのものを変革する産業革命へとつながりました。
問2	答え 4 アメリカ独立宣言	1776年に発表されたアメリカ独立宣言は、日本では江戸時代の寛政の改革（1787年～）と同時期の出来事です。北アメリカ東部の13植民地がイギリスからの独立を表明し、近代民主政治の基本原則を打ち立てました。選択肢にあるインド航路の開拓やザビエルの来日は、日本の室町時代から戦国時代にかけての15～16世紀の出来事であり、国際連盟は20世紀の第一次世界大戦後の出来事です。
問3	答え 1 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した	徳川家康が江戸幕府を開いて以降、幕府は「武家諸法度」によって大名を統制し、厳しい身分制度を敷くことで社会を安定させました。このように幕府と各藩が土地と民衆を二重に支配する「幕藩体制」が構築されたことで、中世のような武力による勢力争いが鎮まり、長期間にわたる平和な社会が実現しました。
問4	答え 2 葛飾北斎が描いた、当時の富士山信仰や旅行ブームを背景とする「富嶽三十六景」である。	「富嶽三十六景」は、当時の庶民の間で盛んだった「富士講（富士山への参詣を目的とした集まり）」や物見遊山の流行を捉えた作品群です。特に「神奈川沖浪裏」と呼ばれる作品は、静止している富士山と動的な大波を対比させた大胆な遠近法が用いられており、西洋の芸術家たちに「ジャポニスム」という日本文化への強い関心を抱かせる要因となりました。
問5	答え 3 対馬藩	豊臣秀吉による朝鮮出兵で悪化した関係を修復するため、対馬（現在の長崎県）を拠点とする宗氏が仲介となり、江戸時代を通じて朝鮮との間に正式な国交が保たれました。対馬藩は、釜山に設置された倭館を拠点に貿易を行い、将軍の代替わりなどの際には朝鮮通信使の来日を案内する役割も果たしました。
問6	答え 4 軍事的な防御力を高めるとともに、商工業者を集めて経済を活性化させ、領地支配を安定させること。	城下町は、単なる居住区ではなく、大名が領地を効率的に統治するための仕組みです。城に近い場所に武士を配置して守りを固める一方で、商工業者を呼び寄せることで城下での物資の流通や経済活動を盛んにし、藩の経済基盤を強固にするねらいがありました。農民は原則として農村に住み、年貢を納める役割を担っていたため、都市への強制移住は行われませんでした。
問7	答え 4 京都所司代を設置して天皇や公家の行動を監視させるとともに、京都の治安維持も担わせた。	江戸幕府は徳川家康の時代から朝廷の政治介入を制限する方針をとり、京都に京都所司代を置いて天皇や公家の動向を厳しく監視しました。また、京都所司代は京都の行政や治安維持、さらには西国大名が朝廷と接触しないよう目を光らせる役割も果たしていました。大阪城代は大阪城の守備、六波羅探題は鎌倉時代の役職であり、老中では江戸で幕政を統括する最高責任者です。
問8	答え 2 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来日し、イエズス会を通じて布教が開始された。	1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したことで、日本に初めてキリスト教が伝わりました。当時、カトリック教会はヨーロッパでの宗教改革に対抗するため、イエズス会などの組織を通じてアジアや日本への布教活動を積極的に進めていました。その過程で、九州のキリシタン大名によって天正遣欧少年使節がローマ教皇のもとへ派遣されるなどの交流も生まれました。
問9	答え 4 長崎奉行	徳川家康は当初、ウィリアム・アダムス（三浦按針）らを重用して海外貿易を推奨していましたが、次第にキリスト教の浸透が幕府の支配体制を揺るがすことを恐れるようになりました。そこで、幕府の直轄地である長崎に「長崎奉行」を置き、貿易の利益を独占するとともに、日本人の海外渡航や帰国を厳禁する「鎖国」体制を整えていきました。
問10	答え 3 百姓一揆	江戸時代、生活が困窮した農民が領主に対して集団で交渉や抗議を行うことを百姓一揆と呼びます。1603年から幕末までの統計を見ると、17世紀は比較的に少なかったものの、天明の飢饉（18世紀後半）や天保の飢饉（19世紀前半）といった大規模な飢饉が発生した時期に発生件数が突出して多くなる傾向があります。都市部で米の買い占めなどに対して行われる「打ちこわし」とは、発生の場所や形態が異なります。
問11	答え 4 徳川家光	徳川家光は、キリスト教の禁止を徹底し、幕府が貿易を完全に管理することを目指しました。1635年に日本人の海外渡航と帰国を禁止し、1639年には島原・天草一揆の影響もあってポルトガル船の来航を禁止したことで、日本は中国（明・清）とオランダのみと限られた窓口で交流する鎖国体制へと入りました。
問12	答え 2 米の供給過剰によって米価が下がると、米を売って生活費を得ていた武士が困窮したため、幕府は米価を上げる目的で市場の整備や調整を行った。	当時の武士は農民から年貢として徴収した米を市場で換金して生活していたため、米の値段が下がることは実質的な収入の減少を意味しました。享保の改革によって年貢の取れ高は増えましたが、市場に米があふれた（供給過剰）ことで「米安・諸色高（米以外の物価が高い状態）」を招き、武士の財政を圧迫しました。このため、徳川吉宗は米価を引き上げるための市場介入を余儀なくされました。